

附属機関等の会議結果の公開 様式

会議名	令和4年度第1回愛荘町立図書館協議会 会議結果(概要)
開催日時	令和4年(2022年)5月25日(水) 19時30分～21時00分
開催場所	秦荘図書館
出席者	安孫子雅城、大辻登代子、小川寿晴、辻野ミ子、西澤基治、西村知子、野村仁美、平野宏文
事務局	教育長 徳田寿、図書館長 三浦寛二 図書館参事 小川亜希子、図書館課長補佐 藤野佳美、小豆畑靖、図書館員 伊藤理志、若林道代
傍聴者	3人
議題	(1)図書館協議会会長、副会長選出 (2)前年度図書館利用状況、行事实施状況、今年度行事予定について (3)愛荘町まちじゅう読書の計画(愛荘町図書館サービス計画・愛荘町子ども読書活動推進計画)の更新について (3)その他
審議内容	<p>(教育長挨拶)</p> <p>(委任状交付)</p> <p>(各委員、事務局職員紹介)</p> <p>(事務局)</p> <p>愛荘町立図書館協議会は、愛荘町立図書館条例および愛荘町立図書館協議会規則により運営されております。この要綱によれば、「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」とあり、委員10名のうち本日のご出席は8名であり、会議が成立しております。</p> <p>また、今回は2年任期の初回の会議となります。開会にあたり、会長と副会長の選出をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西澤委員を会長に選出 ・安孫子委員を副会長に選出 <p>(会長、副会長着席)</p> <p>それでは、会長と副会長に議事進行をお願いします。</p> <p>(会長)</p> <p>それでは議案2、令和3年度の図書館利用状況と行事实施状況、令和4年度の行事予定について事務局よりお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>愛知川図書館の昨年度の利用状況をお伝えします。昨年度はトイレ改修を行い、どなたでも利用できる「だれでもトイレ」を設置しました。貸出冊数は減少していますが、下がっている月は、雪の日が多かったこともあり、そのことも影響しているかもしれません。今年度の事業は、定例の古文書をよむ会のほか、おひぎでだっこのおはなしかい、バリアフリー映画上映</p>

会などを予定しています。

(事務局)

秦荘図書館の昨年度の利用状況をお伝えします。昨年度は、10月に児童書全点購入図書展示を行いました。図書は、令和2年8月から令和3年8月に出版された児童書を県立図書館から借用しました。また、11月に韓国絵本展とおはなし会を行いました。このことから、10月・11月の貸出冊数が増加したと考えています。

今年度の事業は、オーダーメイドおはなしかい、あたまいきいき音読教室、読書でガチャコン2022などを予定しています。

(事務局)

びんてまりの館の展示・行事の実施状況をお伝えします。昨年度は、8月に行いました安居智博さんの展示が大変好評でした。また、3月に行いました「写真展笑顔をありがとう」ですが、医療的ケアを必要とする子どもたちの支援を行っている特定非営利活動法人・道さんと共催で実施した写真家の國森康弘さんの写真展につきましては、特に町民さんの関心が高く、多くの方に見ていただくことができました。今年度の事業は、絵本作家の西村敏雄さんの絵本原画展などを予定しています。

(会長)

それでは議案3、愛荘町まちじゅう読書の計画（愛荘町図書館サービス計画・愛荘町子ども読書活動推進計画）の更新について事務局よりお願いします。

(事務局)

本年は計画の更新の年となっております。つきましては、この件につき、本日は委員の皆さまからご意見をいただきたく存じます。

(委員)

学校図書室の様子がすごく変わった。以前は鍵のかかった図書室で待ち合わせだったのが、今は朝早くから指導員さんが開けてくれていて、子どもたちが本を持って多く出入りしていた。先日も読み聞かせボランティアの活動で愛知川小学校へ行ったが、指導員さんが折り紙で動物や花などを折り、子どもたちの興味を引いていた。子どもたちが図書室に来る楽しみを作っていて良いなと思った。

(委員)

私も、先日ボランティア活動で秦荘図書館の清掃作業を行いました。ちょうどその日は秦荘西小学校の3年生の図書館見学の日でした。その日、

朝の登校の立ち当番の際、子どもたちが私に「今日、図書館へ行くのが楽しみ」と嬉しそうに話してくれたことを思い出しました。個人での来館は各家庭の事情もあるかもしれませんが、学校のおかげで、子どもたち全員に「図書館へ来館する」という機会が平等に設けられていることが、大変よいことだと思いました。

(委員)

愛荘町の図書館は、日頃から住民に寄り添った対応をしてくださっていることが、図書館のよい雰囲気につながっていると思います。

(委員)

中学生への読書支援はどういう状況でしょうか。

(事務局)

愛知中学校は改修中です。秦荘中学校は担当の先生とお話する機会がありました。長年子どもたちの様子を見てくださっている現場の先生から、学校図書館支援開始以降に入学してくる子どもたちの様子が、よい方向に変わってきているとおっしゃっていただいています。秦荘図書館では、週2回お昼休みに中学校へ出前図書館を行っています。

(委員)

まちじゅう読書の取り組みとして、愛荘町に本好きが集う日のようなものを企画してはどうでしょうか。海外では「サイエンスウィーク」というものがあり、そのときは、多くの専門家がその街に集まってくるそうです。この「まちじゅう読書」という言葉には、町民だけでなく、町外からも来町される方も含むことで、町全体が「読書のまち」となるのではないのでしょうか。ビブリオバトルの開催も方法のひとつだと思います。

(委員)

町のイベントに図書館が来るということも大切ですね。66 祭などに、図書館のブースがあり、そこで図書館の職員に色々相談できる機会があってもよいかもしれません。先日、SDGsに関する図書の読み聞かせを行っていただきましたが、大変よかったです。中学生には恥ずかしいかもしれませんが、愛荘町の子どもたちは、義務教育期間に1度は「読み聞かせを体験したことがある」、ということも必要ではないかと考えています。

(委員)

保護者に対する読書の取り組みもよいと思います。親になられた方がお子さんへ本をつないでいくことが大切であると思います。当町では、4か月のブックスタート、1歳のきらきらバースデーにおいて絵本をプレゼント

されています。町のすべての子どもたちを気にかけているという姿勢が感じられ、よい事業だと思います。

(委員)

タブレット端末が1人1台の時代に、「減メディア親読書」の取り組みについて、どのようにお考えでしょうか。

(事務局)

この取り組みは、メディアとの付き合い方を考えることも目的としています。先日、電子メディア使用による、子どもたちの目に対する深刻な状況が報道されているのを目にしました。やはり、この取り組みの大切さを再認識したところです。

(事務局)

電子書籍について、補足申し上げます。現在、電子書籍サービスを提供する図書館もあります。しかしながら、電子書籍の提供点数は非常に少ないのが現状です。日本では、紙の図書については「再販制度」というものがあり、全国どこの書店でも本の単価は一律ですが、電子書籍については、その制度は反映されません。したがって、電子書籍の単価は各企業が決められることになるため、例えば、図書館に高価な単価で請求することも可能です。このようなことから、いまのところ電子書籍サービスの実施については考えておりません。

(事務局)

委員の皆様、さまざまな視点から、有意義なご意見をいただき誠にありがとうございました。今後の参考にいたします。

(会長)

次に、その他の議案についてお願いします。

(副会長)

ボランティアグループほんてつでビブリオバトルの開催を予定しており、今年度は動画も予定しております。どうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

次回開催予定日ですが、11月16日水曜日でいかがでしょうか。

(異議なし)

では、11月16日水曜日の予定でお願いします。

(副会長閉会挨拶)

	(会長) 本日はありがとうございました。
問い合わせ先	秦荘図書館 連絡先 0749-37-4345